

学校生活における
食物アレルギー対応の
手引き



令和3年3月改訂
八千代町教育委員会

目 次

I 食物アレルギーとアナフィラキシー

- 1. 食物アレルギーとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. アナフィラキシーとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

II 食物アレルギーのある児童生徒への対応

- 1. 学校生活での留意点（学校給食以外）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2. 学校での各職員の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3. 食物アレルギーに関する健康管理の流れ・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 4. 学年別使用様式フローチャート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

III 学校給食における対応

- 1. 八千代町学校給食センターのアレルギー対応について・・・・・・・・ 16
- 2. 資料の活用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3. 対応までの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 4. 対応について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

IV 学校における緊急時の対応

- ・・ 19

V 様式集

- ・・ 26

学校における食物アレルギー対応の基本的な考え方

- 1. 児童生徒の症状等の特徴を把握する。
- 2. 児童生徒の状態を踏まえたうえで、学校生活での留意点を明確にする。
- 3. 学校関係者（校長等管理職・担任・保健主事・養護教諭・栄養教諭等）・学校医・保護者・主治医・関係機関（給食センター・消防機関等）との連携・協力のもと、緊急時の対応・体制を確立する。

I 食物アレルギーとアナフィラキシー

1. 食物アレルギーとは

(1) 定義

特定の食物を摂取することによって、皮膚・呼吸器・消化器あるいは全身性に生じるアレルギー反応のことをいいます。

(2) 頻度

児童生徒の食物アレルギー有病率は1～3%の範囲内にあるとの見解が示されています。

(3) 原因

原因食物は多岐にわたり、年齢によって異なります。乳幼児では鶏卵・乳製品・小麦が三大アレルギー原因食物として知られていますが、小学校以上ではそれらは減少する傾向にあり、甲殻類（えび・かに等）果物類（特にキウイフルーツ）・魚類等を原因として症状が現われることが多い傾向にあります。この他、落花生（ピーナッツ）・そば・大豆・魚卵等様々な食物が原因となります。

(4) 症状

じんましんのような軽い症状から、アナフィラキシーショックのような命にかかわる重い症状まで様々です。注意すべき点は、食物アレルギーの約10%がアナフィラキシーショックにまで進んでいる点です。

分 類		症 状
皮膚粘膜症状	皮膚	かゆみ, じんましん, むくみ, 発赤, 湿疹
口腔咽頭	口腔咽頭	口腔・口唇・舌の違和感, 腫れ, 声がかれて出にくくなる, 喉のかゆみ, イガイガ感, 喉がしめつけられる感覚
消化器症状	消化器	腹痛, 吐き気, 嘔吐, 下痢, 血便
呼吸器症状	上気道 下気道	くしゃみ, 鼻汁, 鼻づまり, 呼吸困難, せき, 喘息（ゼーゼー ヒューヒューして息が苦しくなる）
全身性症状	アナフィラキシー	多臓器にわたる症状
	アナフィラキシー ショック	頻脈, 虚脱状態（ぐったり）, 失禁, 意識障害, 血圧低下

(5) 食物アレルギーと間違えやすい症状

①◆食物不耐症◆

乳糖やグルテン等の体質的な消化不良が原因で、消化器症状が主症状です。

(例) 乳糖不耐症：牛乳を飲むと下痢を起こしやすい。

②◆仮性アレルゲンによる症状◆

食品に含まれている化学物質が原因となってアレルギー症状に似た症状を起こします。

(例) さば等に含まれる「ヒスタミン」という物質が作用して、食べるとじんましんを起こす。

③◆食中毒◆

食品中に含まれていた病原体や自然毒、化学物質等により発症します。

(6) 病型

①◆即時型◆

食物アレルギーの児童生徒のほとんどはこの病型に分類されます。原因食物を食べて2時間以内に症状が出現し、その症状はじんましんのような軽い症状から、生命の危険も伴うアナフィラキシーショックに進行するまで様々です。

③◆口腔アレルギー症候群◆

果物や野菜・木の実類に対するアレルギーに多い病型で、食後5分以内に口腔内（口の中）の症状（のどのかゆみ、ヒリヒリする、イガイガする、腫れぼったい等）が現われます。多くは局所の症状だけで回復に向かいますが、5%程度で全身的な症状に進むことがあるため注意が必要です。

③◆食物依存性運動誘発アナフィラキシー◆

多くの場合、原因となる食物を摂取して2時間以内に一定量の運動（昼休みの遊び、体育や部活動等患者によって様々）をすることによりアナフィラキシー症状を発症します。原因食物としては小麦、甲殻類が多く、このような症状を経験する頻度は中学生で6,000人に1人程度といわれています。発症した場合には、じんましんからはじまり、高頻度で呼吸困難やショック症状のような重篤な症状に至るので注意が必要です。原因食物の摂取と運動の組み合わせで発症するため、食べただけ、運動しただけでは症状は起きません。何度も同じ症状を繰り返しながら、この疾患であると診断されていない例もみられます。

(7) 治療

「原因となる食物を摂取しないこと」が治療（予防）法となります。そして、万一症状が出現した場合には、速やかに適切な対処を行うことが重要です。じんましん等の軽い症状に対しては抗ヒスタミン薬の内服や経過観察により回復することもあります。ゼーゼー・呼吸困難・嘔吐・ショック等の中等症から重症の症状には、アナフィラキシーに準じた対処が必要となります。



2. アナフィラキシーとは

(1) 定義

アレルギー反応により、じんましん等の皮膚症状、腹痛や嘔吐等の消化器症状、喘鳴（ゼーゼーした呼吸）や呼吸困難等の呼吸器症状が、複数同時にかつ急激に出現した状態をアナフィラキシーといいます。その中でも、血圧が低下して意識の低下や脱力を来すような場合を、特にアナフィラキシーショックと呼び、対応が遅れると生命にかかわる重篤な状態であることを意味します。また、アナフィラキシーには、アレルギー反応によらず運動や物理的な刺激等によって起こる場合もあることが知られています。

(2) 原因

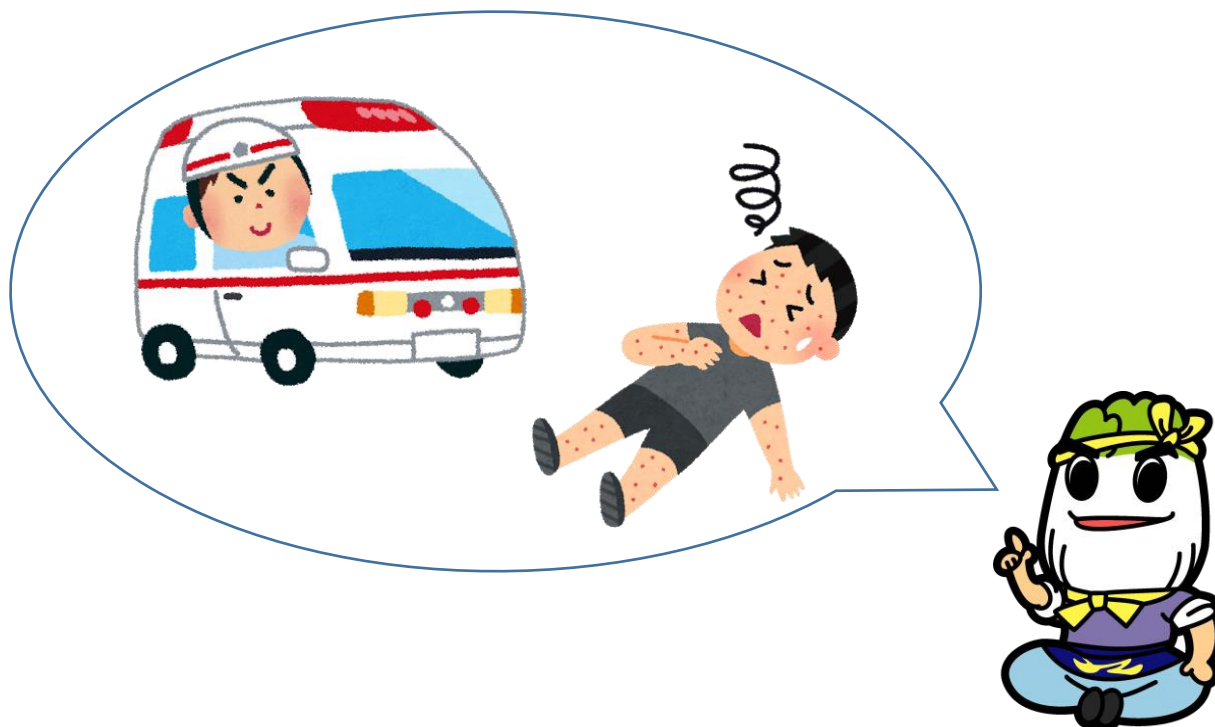
児童生徒に起きるアナフィラキシーの原因のほとんどは食物ですが、それ以外に昆虫刺傷、医薬品、ラテックス（天然ゴム）等が問題となります。まれに運動だけで起きることもあります。

(3) 症状

皮膚が赤くなったり、息苦しくなったり、激しい嘔吐等の症状が複数同時かつ急激にみられますが、もっとも注意すべき症状は、血圧が下がり意識の低下がみられる等のアナフィラキシーショックの状態です。迅速に対応しないと命にかかわることがあります。

(4) 治療

具体的な治療は重症度によって異なりますが、意識の障害等がみられる重症の場合には、まず適切な場所に足を頭より高く上げた体位で寝かせ、嘔吐に備え、顔を横向きにします。そして、意識状態や呼吸、心拍の状態、皮膚色の状態を確認しながら必要に応じ一時救命措置を行い、医療機関への搬送を急ぎます。アドレナリン自己注射薬である「エピペン®」（商品名）を携行している場合には、出来るだけ早期に注射することが効果的です。アナフィラキシー症状は急激に進行することが多く、最低1時間、理想的には4時間は経過を追う必要があります。経過を追うときは片時も目を離さず、症状の進展がなく改善している状態を確認しましょう。



Ⅱ 食物アレルギーのある児童生徒への対応

1. 学校生活での留意点（学校給食以外）

（1）家庭科、技術・家庭科、総合的な学習の時間、特別活動、課外活動等

調理実習等、食材を使う活動の場合、学級担任・教科担任等は、事前に使用する食材等において、原因となる食品が含まれていないかを確認し、学校長に報告します。（様式1）

（2）体育・保健体育等

食物依存性運動誘発性アナフィラキシーの児童生徒は、原因食品を食べた可能性がある場合、運動は避けるようにします。

★体育等に限らず、昼休みの遊び等、激しい体動についても注意します。

（3）校外学習・宿泊行事等

①旅行業者や保護者からの情報をもとに、どの場面でのどのような対応、配慮を行うかを確認しておきます。

②弁当や菓子類の友だち同士でのやりとり等に注意し、おやつや飲み物、自由行動での食事内容にも注意させます。

③症状が出たときの対応、通常使用している薬の使用状況等を保護者と事前に連絡を取り確認します。薬は本人が持参し、原則として本人が自分で使用できるようにしておきます。

④緊急時の連絡体制、搬送先（宿泊先周辺の適切な医療機関）等について事前に整理し、保護者および教職員間で共通理解を図ります。

★学校は、事前に宿泊先から食事のメニューを取り寄せ、保護者と対応を検討します。その際、加工食品にも留意します。

★宿泊先や昼食場所等での食事内容、学習の内容等について事前に確認し、担任は保護者に伝え、対応が必要な場合は、関係職員が保護者と相談します。

★除去食等の対応ができない場合は、保護者と相談して対応を考えます。

★寝具（そば枕等）にも注意します。

2. 学校での各職員の役割

（1）管理職（校長等）の役割

①◆保護者への対応◆

保護者と面談した際、学校としての基本的な考え方等を説明します。

②◆教職員への指導等◆

校長のリーダーシップのもと、教職員がアレルギー症状や対応に共通理解が図れるよう指導します。また、校内の教職員すべてがアレルギーに関する正しい知識を持ち、情報を共有することが大切であるため、アレルギーについての研修を行います。

③◆校内食物アレルギー対応委員会◆

校内食物アレルギー対応委員会を設置および開催します。

④◆学校給食等に関すること◆

町の基本的な対応方針を確認するとともに、関係教職員との話し合い、その他の諸状況を勘案して対応を決定します。

⑤◆緊急体制の整備◆

アレルギー症状を発症した場合の対応を決めておき、発症時には迅速な指揮命令を行います。また、アナフィラキシーを発症した場合や救急車を要請した場合は、学校教育課へ速やかに報告します。

(様式2)

(2) 学級担任の役割

①◆保護者への対応◆

- ・保護者の申し出や各調査等により食物アレルギー疾患の児童生徒を把握します。
- ・養護教諭・栄養教諭または学校栄養職員と共に、保護者との面談日時を調整し面談を行い、学校生活上の留意点や緊急時の対応、主治医や保護者の連絡先等を確認します。
- ・対応がまとまり次第、学校における対応について保護者に連絡します。
- ・校外学習・宿泊行事等に際しては、事前に症状が出たときの対応、通常使用している薬の使用状況等を保護者と確認すると共に、緊急時の連絡体制、搬送先（宿泊地周辺の適切な医療機関）等について保護者および教職員間で共通理解を図ります。

②◆食物アレルギーに対する児童生徒への指導◆

- ・児童生徒に対して、当該児童生徒を正しく理解できるように指導を行い、偏見やひやかし等が生じないように配慮します。
- ・児童生徒が誤食に気づいたときや食後体調の変化を感じたときはすぐに申し出るように指導します。
- ・食物アレルギーを持つ児童生徒が安全で楽しい給食の時間を送ることができるように配慮します。

③◆学校給食に関する留意点◆

- ・配膳時、誤配がないか確認します。
- ・児童生徒が原因食物を除去して食べる（レベル1）は、当日の献立と使用食品を確認します。さらに、児童生徒が原因食物を除去したか確認します。
- ・食物アレルギーを持つ児童生徒が給食当番を行う際や、配食・片付けの際には、原因食物に触れることがないように配慮します。

(3) 養護教諭・保健主事の役割

①◆アレルギー疾患の児童生徒、保護者への対応◆

- ・学級担任・栄養教諭または学校栄養職員等との連携を図ります。
- ・保護者の申し出や各調査等により食物アレルギー疾患の児童生徒を把握し、学校での対応を望む保護者には『学校生活管理指導表』の提出を依頼します。
- ・保護者との面談を行い、学校生活上の留意点や緊急時の対応、連絡先等を確認します。
- ・「食物アレルギー児童生徒個別支援プラン」を作成します。
- ・主治医・学校医と連携を図り、当該児童生徒にアレルギー症状が出た場合の応急手当ての方法や連絡先を確認します。（エピペン®の保管場所や使用方法等を含む）

②◆教職員への指導◆

- ・食物アレルギーについての正しい知識を教職員に周知し、常に学級担任・栄養教諭または学校栄養職員等、他の校内職員との連携を図ります。
- ・除去食等の食物アレルギー対応をしている場合は、職員間での情報を共有し、学級担任以外でも給食・昼食時の食物アレルギーに対応できるようにします。
- ・緊急時の対応や主治医や保護者の連絡先等、保護者からの情報を教職員に伝えます。

(4) 給食主任の役割

- ・食物アレルギーについての正しい知識を持ちます。
- ・保護者と面談を行い、学校生活上の留意点や緊急時の対応、連絡先等を確認します。
- ・栄養教諭または学校栄養職員の未配置校や受配校においては、担当する栄養教諭または学校栄養職員との連携を図ります。

(5) 栄養教諭・学校栄養職員の役割

①◆学校給食の除去等が必要な児童生徒の保護者への対応◆

- ・食物アレルギーについての正しい知識を持ちます。
- ・学級担任・養護教諭等と共に、保護者と対応について定期的に確認します。
- ・給食献立の情報（加工食品等の原材料や原料配合割合、対応献立等）を学校へ提供します。

②◆教職員への対応◆

- ・学校給食で対応できる内容を関係職員と十分に調整し、校長に報告します。
- ・給食時の注意点や給食を通じて食物アレルギーに対する食事全般の指導等を教職員に伝えます。

③◆個別指導への取り組み◆

- ・必要に応じて保護者と面談を行い、日頃から電話や連絡ノート等を利用して課題や状況を確認します。
- ・保護者からの面談の希望があった場合は、日程を調整して応じます。

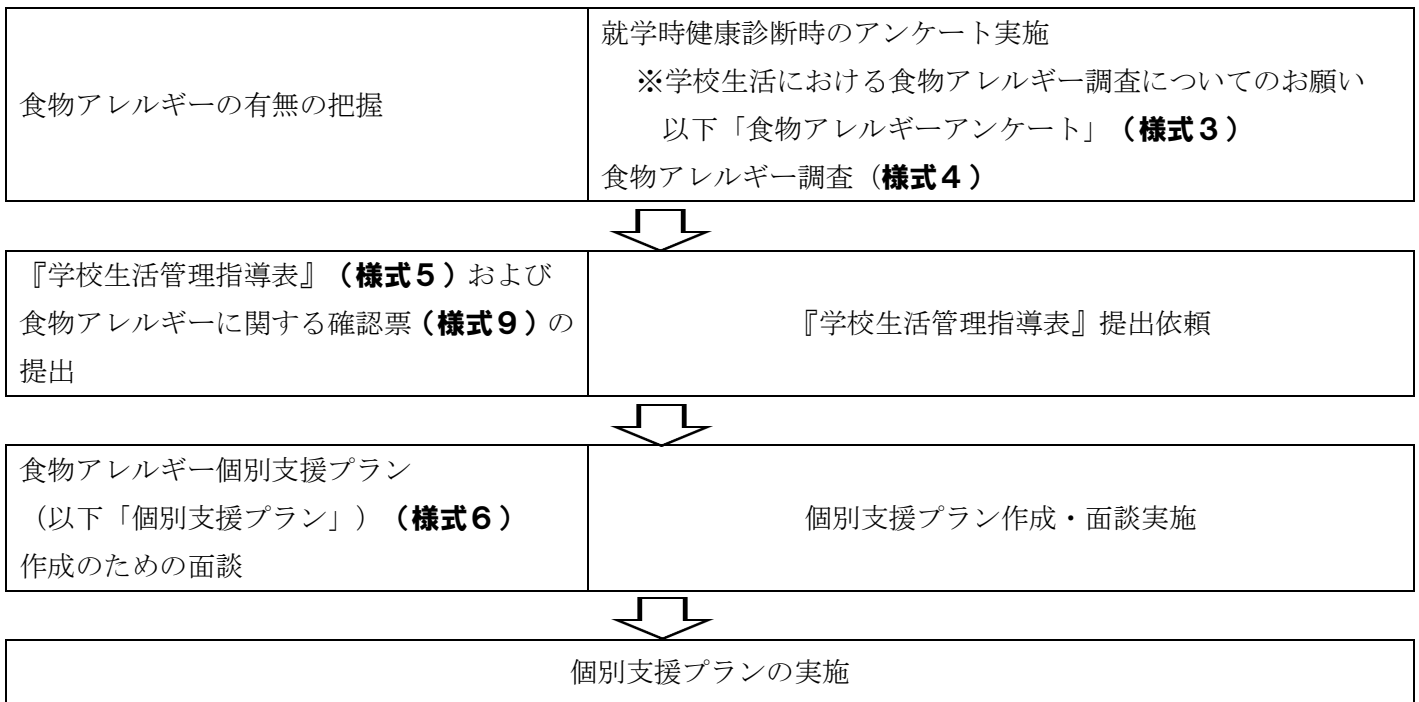
④◆栄養教諭・学校栄養職員の未配置校や受配校への対応◆

- ・派遣依頼に応じ、校内食物アレルギー対応委員会へ参画します。
- ・依頼に応じ、保護者との個別面談、食物アレルギー児童生徒個別支援プランの作成や対応の助言・指導等を行います。



3. 食物アレルギーに関する健康管理の流れ

(1) 食物アレルギーの対応について



(2) 食物アレルギーの把握と対応の流れ(全体)

時期	実施者	内容	対象
10月	教育委員会および各学校 (就学時健康診断)	就学時健康診断票 入学に必要な健康調査 食物アレルギーアンケート	新小学1年生
2~3月	各学校	幼稚園・保育園訪問情報交換	新小学1年生
		食物アレルギー調査	新小学2~中学1年生 新中学2・3年生(様式7)
4月		食物アレルギー調査	新小学1年生(様式8) 保健調査票と同時配付

時期	実施者	内容	対象
2~3月上旬	養護教諭	『学校生活管理指導表』および食物アレルギーに関する確認票の提出依頼(様式10)	対応する児童生徒
3~4月	校内食物アレルギー対応委員会	個別支援プラン作成のための面談 個別支援プランの確認 給食センターへの報告(様式11)	対応する児童生徒
	全教職員	個別支援プランの共有	
4月~	全教職員	給食開始 個別支援プランの実施	
3月	校内食物アレルギー対応委員会	評価	

※年度途中に食物アレルギーを発症した児童生徒に対しては、随時対応を行う。

(3) 食物アレルギーの把握の流れ (小学校)

食物アレルギーの有無の把握				
対象児童の把握	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	新1年生	10月	保健主事・養護教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健康診断票 ・入学に必要な健康調査 ・食物アレルギーアンケート
		2月	就学担当者・養護教諭	
	新2～ 新中学1年生	2～3月	学級担任・保健主事・養護教諭・ 給食主任	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー調査
<p>○新1年生は、食物アレルギーアンケート等から、アレルギー疾患を有する児童を把握し、食物アレルギーを有する場合には、医療機関受診および『学校生活管理指導表』、食物アレルギーに関する確認票の提出を依頼する。</p> <p>○新2～新中学1年生は、食物アレルギー調査を配付し、保護者に記入してもらう。その後回収し、児童の健康状態について確認しておく。</p>				
食物アレルギー調査 学校生活管理指導表	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	新1年生	1～4月	入学説明会担当者・保健主事 養護教諭・給食主任	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー調査
			学級担任・養護教諭	
	新2～ 新中学1年生	2～3月 上旬	学級担任・養護教諭	
<p>○新1年生は、入学後保健調査票と食物アレルギー調査を同時に配布する。</p> <p>○新2～新中学1年生は食物アレルギー調査の結果、医師の診断および学校生活における配慮が必要な児童に『学校生活管理指導表』を配付する。</p> <p>○新中学1年生分は食物アレルギー調査等を進学予定の中学校に送る。</p>				

計 画				
個別支援プランの作成 個別面談	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	食物アレルギーを有する児童	3～4月	食物アレルギー対応委員会 校長・教頭・学級担任・保健主事 養護教諭・給食主任・栄養教諭 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・『学校生活管理指導表』 ・食物アレルギー調査 ・個別支援プラン ・献立表(案) 他
	○配慮が必要な生徒について、給食センターに報告する。(『学校生活管理指導表』の提出。)			
	○保護者との面談時に、学校として実施可能な個別支援プランを作成する。			
	○取組の実践に向けた準備を行う。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・消防署・保護者との連携による緊急体制の確認をする。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーを有する児童の一覧表を作成する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・給食対応についての確認・連絡をする。 			

実践

実践				
個別支援プランの 職員の共通理解 の実施	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	食物アレルギーを有する児童	4月 必要時	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーを有する児童一覧表 ・個別支援プラン
	○全職員で食物アレルギーを有する児童の共通理解を図る。			
	○該当児童以外の児童への指導を行う。			
	○人権に配慮し、個人情報の取り扱いに留意する。			
	○必要に応じて、保護者との意見交換の場を設ける。			
	○緊急体制に関するシミュレーションについて研修を行う。			
	○関係機関との連携についての確認を行う。（医療機関・消防署・給食センター等）			

評価・改善

評価・改善				
個別支援プランの 実践の評価 の見直し	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	食物アレルギーを有する児童	3月 随時	食物アレルギー対応委員会 校長・教頭・学級担任・保健主事 養護教諭・給食主任・栄養教諭 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・『学校生活管理指導表』 ・個別支援プラン
○対応についての評価と次年度にむけての準備				
<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援プランについては、継続の場合も毎年面談を行い、見直しをする。 				

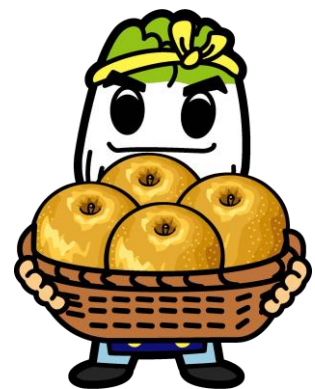
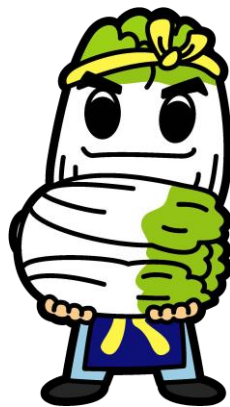
(4) 食物アレルギーの把握の流れ(中学校)

食物アレルギーの有無の把握				
対象生徒の把握	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	新1年生	2～3月	小学校に依頼	・食物アレルギー調査
			養護教諭	・保護者からの申請 ・小学校からの引継ぎ
	新2・3年		学級担任・保健主事・養護教諭 給食主任	・食物アレルギー調査
<p>○新1年生は、食物アレルギー調査のほか入学に必要な健康調査、小学校からの引継ぎ書類から、アレルギー疾患を有する生徒を把握する。小学校使用の保健調査票も保管し、情報源とする。</p> <p>○新2・3年は、食物アレルギー調査を配付し、保護者に記入してもらう。</p> <p>その後回収し、生徒の健康状態について確認しておく。</p>				
『学校生活管理指導表』 食物アレルギー調査	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	新1年生	2～3月	保健主事・養護教諭・給食主任	・食物アレルギー調査
	新2・3年			
	<p>○新1年生の食物アレルギーを有する生徒には、医療機関受診および『学校生活管理指導表』、食物アレルギー確認票の提出を小学校で依頼してもらい、情報を引き継ぐ。</p> <p>○新2・3年生は、食物アレルギー調査の結果、医師の診断および学校生活における配慮が必要な生徒に『学校生活管理指導表』を配付する。</p>			

計 画				
個別支援プランの作成 個別面談	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	食物アレルギーを有する生徒	3～4月	食物アレルギー対応委員会 校長・教頭・学級担任・保健主事 養護教諭・給食主任・栄養教諭 その他	・『学校生活管理指導表』 ・食物アレルギー調査 ・個別支援プラン ・献立表(案) 他
	○配慮が必要な生徒について、給食センターに報告する。(『学校生活管理指導表』の提出。)			
	○保護者との面談時に、学校として実施可能な個別支援プランを作成する。			
	○取組の実践に向けた準備を行う。			
	・医療機関・消防署・保護者との連携による緊急体制を確認する。			
	・食物アレルギーを有する生徒の一覧表を作成する。			
	・給食対応についての確認・連絡する。			

実践				
個別支援プランの実施 職員の共通理解	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	食物アレルギーを有する生徒	4月 必要時	全職員	<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギーを有する生徒の一覧 個別支援プラン
	○全職員で食物アレルギーを有する生徒の共通理解を図る。			
	○該当生徒以外の生徒への指導を行う。			
	○人権に配慮し、個人情報の取り扱いに留意する。			
	○必要に応じて、保護者との意見交換の場を設ける。			
	○緊急体制に関するシミュレーションについて研修を行う。			
	○関係機関との連携についての確認を行う。（医療機関・消防署・給食センター等）			

評価・改善				
個別支援プラン見直し 実践の評価	学年・対象児童	時期	関係職員	関係書類等
	食物アレルギーを有する生徒	3月 随時	食物アレルギー対応委員会 校長・教頭・学級担任・保健主事 養護教諭・給食主任・栄養教諭 その他	<ul style="list-style-type: none"> 『学校生活管理指導表』 個別支援プラン
○対応についての評価と次年度にむけての準備				
<ul style="list-style-type: none"> 個別支援プランについては、継続の場合も毎年面談を行い、見直しをする。 				



4. 学年別使用様式フローチャート

(1) 新小学1年生

【アレルギーの有無の把握】

- ・ 就学時健康診断前

様式3 学校生活における食物アレルギー調査についてのお願い 配付（教育委員会）

- ・ 就学時健康診断当日

様式3 学校生活における食物アレルギー調査についてのお願い 回収（教育委員会）

- ・ 入学前

幼稚園・保育園訪問 情報交換（学校）

- ・ 入学後

様式8 食物アレルギー調査のお願い 配付（学校）

様式4 食物アレルギー調査 配付（学校）

【アレルギー有と答えた児童の詳細把握】

- ・ 就学時健診時

様式10 『学校生活管理指導表』等の提出についてのお願い 配付（教育委員会）

様式5 『学校生活管理指導表』 配付（教育委員会）

様式9 食物アレルギーに関する確認票 配付（教育委員会）

- ・ 入学説明会当日

様式5 『学校生活管理指導表』 回収（学校）

様式9 食物アレルギーに関する確認票 回収（学校）

※入学後に判明した場合は、**(4) 新規発症**と同様に取り扱う。

【アレルギー対応の実施】

- ・ 給食開始までに個別面談の実施

・ **様式6** 食物アレルギー個別支援プラン 作成

・ **様式11** 食物アレルギー対応児童生徒一覧表 給食センターへ提出

(2) 新小学2年生～6年生，新中学2年生～3年生

【アレルギーの有無の把握】

- ・前年度2～3月

様式7 食物アレルギー調査のお願い 配付

様式4 食物アレルギー調査 配付

【アレルギー有と答えた児童生徒の詳細把握】

- ・前年度2～3月

様式10 『学校生活管理指導表』等の提出についてのお願い 配付

様式5 『学校生活管理指導表』 配付

様式9 食物アレルギーに関する確認票 配付

- ・前年度2～3月

様式5 『学校生活管理指導表』 回収

様式9 食物アレルギーに関する確認票 回収

【アレルギー対応の実施】

- ・給食開始までに個別面談の実施

・ **様式6** 食物アレルギー個別支援プラン 作成

・ **様式11** 食物アレルギー対応児童生徒一覧表 給食センターへ提出

(3) 新中学1年生

【アレルギーの有無の把握】

- ・前年度2～3月
 - 様式7** 食物アレルギー調査のお願い 配付
 - 様式4** 食物アレルギー調査 配付

【アレルギー有と答えた児童の詳細把握】

- ・前年度2～3月
 - 様式10** 『学校生活管理指導表』等の提出についてのお願い 配付
 - 様式5** 『学校生活管理指導表』 配付
 - 様式9** 食物アレルギーに関する確認票 配付
- ・前年度2～3月
 - 様式5** 『学校生活管理指導表』 回収
 - 様式9** 食物アレルギーに関する確認票 回収
- ・入学前
 - 様式5** 『学校生活管理指導表』 6年主任が中学校へ提出
 - 様式9** 食物アレルギーに関する確認票 6年主任が中学校へ提出

【アレルギー対応の実施】

- ・給食開始までに個別面談の実施
- ・**様式6** 食物アレルギー個別支援プラン 作成
- ・**様式11** 食物アレルギー対応児童生徒一覧表 給食センターへ提出

(4) 新規発症

【アレルギーの有無の把握】

・前年度2～3月

様式7 食物アレルギー調査のお願い 配付

様式4 食物アレルギー調査 配付

【発症が判明した時点での詳細把握】

様式10 『学校生活管理指導表』等の提出についてのお願い 配付

様式5 『学校生活管理指導表』 配付 回収

様式9 食物アレルギーに関する確認票 配付 回収

【アレルギー対応の実施】

・個別面談の実施

・**様式6** 食物アレルギー個別支援プラン 作成

・**様式11** 食物アレルギー対応児童生徒一覧表 給食センターへ追加提出



Ⅲ 学校給食における対応

1. 八千代町学校給食センターのアレルギー対応について

学校給食は学校教育の一環として実施されており、食物アレルギーを有する児童生徒も「学校給食法」に定める目標を達成できるよう、給食センターでは、安全・安心な食材の調達、食事内容の充実に取り組んでいます。

しかしながら、給食センターでは、児童生徒のアレルギーの状態や学校及び調理場の施設状況（人員や設備等）を総合的に判断し、除去食や代替食対応は行っておりません。そのため全ての学校に対して献立内容の詳細な情報（**献立表（案）**）と、加工食品等に含まれる詳細な情報（**加工食品成分表**）を提供しています。

学校給食におけるアレルギー対応食は、次の4つに分けられます。

レベル1：詳細な献立表による対応

比較的症状が軽く、確認の上、原因食物を取り除くことができる場合。

レベル2：弁当対応（完全弁当対応と一部弁当対応の2種類がある）

アレルゲンの種類が多い、重篤なアレルギーを持っている等の理由で給食を食べることができない場合。

※レベル1であっても、献立によっては弁当持参とするような柔軟な対応を取る。

これより先の対応は八千代町では行っておりません。

レベル3：除去食対応

レベル4：代替食対応

2. 資料の活用について

アレルギーの段階に応じて資料を活用します。資料は次の3つです。

- (1) **献立表（様式12）** ⇒ 毎月（8月は除く）全ての保護者に配布している献立表
料理名・食品が記載されています。通常の食事に対応できるレベルのアレルギーの場合は、こちらの**献立表**で原因食物の有無を確認します。
- (2) **献立表（案）（様式13）** ⇒ 全ての学校に配布している詳細な献立表
アレルギー用の詳細な献立表です。給食に使用される食材・調味料・加工食品が記載されています。食材等の使用状況に応じて、除去して給食を食べる際に確認します。
- (3) **加工食品成分表（様式14）** ⇒ 全ての学校に配布している成分表
加工食品の原材料や原料配合割合等が記載されています。アレルギー物資の有無や加工食品の配合等を確認します。

3. 対応までの流れ

アレルギーのある児童生徒の保護者より、学校に申し出
(食物アレルギー調査、『学校生活管理指導表』等の提出)



学校、給食センター、保護者で面談の実施



医師の診断と指示に基づき、校内食物アレルギー対応委員会等で対応を協議し決定



学校から**様式11**で給食センターへ報告

4. 対応について

(1) レベル別の対応内容

レベル1：詳細な献立表による対応 原因食品を除去して食べる

(事前)

学校給食の原材料を記入した献立表 (**献立表 (案)**) を学校に配布する。



献立表 (案) をもとに、学校・保護者・本人等が除去する食品を確認する。

※アレルギーの程度によりさらに
詳細な情報が必要な場合

加工食品成分表 および **献立表 (案)** をもとに、
学校・保護者・本人等が除去する食品を確認する。

(当日)

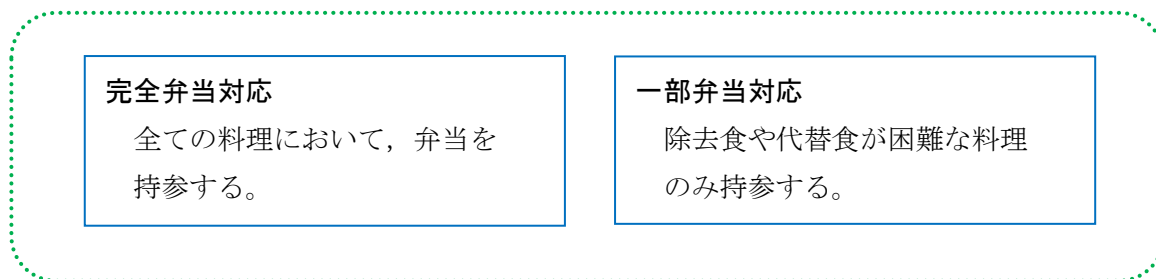
献立表 (案) をもとに、学校・保護者等が除去する食品の指示をする。もしくは、本人の判断で除去し食べる。

(留意点)

- ①保護者が**献立表 (案)**を確認し、本人に除去する食品をよく理解させ、学級担任等に連絡します。
- ②学級担任等は、除去する食品を正しく理解し、他の児童生徒にも正しく理解するよう指導します。
- ③児童生徒は各自で食品を除去し食べることが前提ですが、発達段階により、必要に応じて学級担任等の指導のもと確実に除去できるようにします。
- ④当日は、原因食品を除去して食べていることを確認します。

レベル2：弁当持参による対応 完全弁当持参もしくは一部弁当持参

(事前)



献立表 (案) をもとに、給食が食べられる日と弁当持参の日を決める。



※アレルギーの程度によりさらに
詳細な情報が必要な場合

加工食品成分表 および 献立表 (案) をもとに、
学校・保護者・本人等が除去する食品を確認する。



(当日)

弁当または給食を食べる。

(留意点)

- ①当日は、弁当を食べているか確認します。
- ②弁当の保管場所をあらかじめ確認し、誤配・誤食がないようにします。
- ③重症度に応じて、配食や片付けの際に原因食品に触れることがないように配慮します。

(2) 全ての対応に共通する留意点

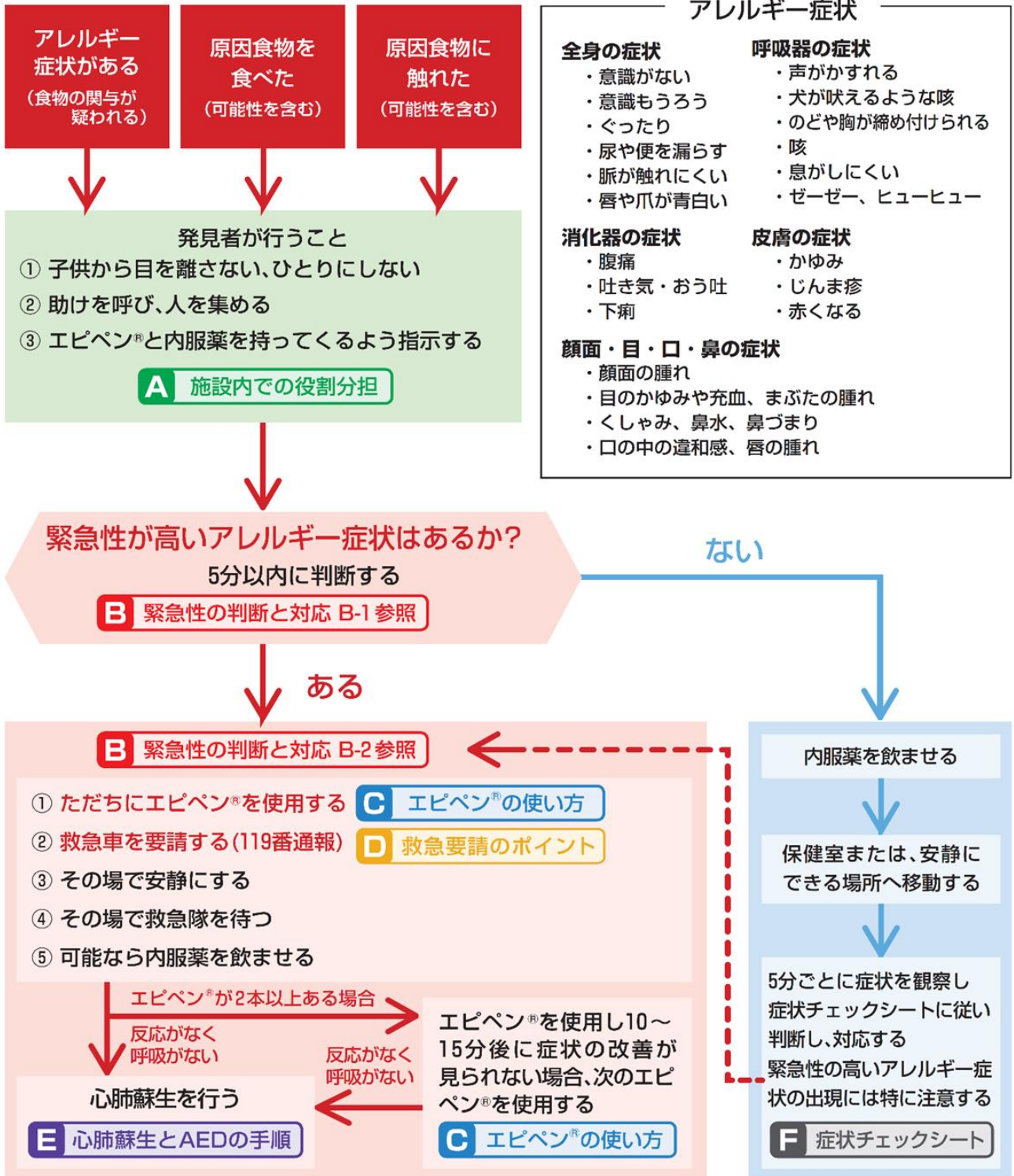
- ①誤飲・誤食の場合の対処方法を、全教職員で確認します。
- ②学級担任が不在時の対応を明確にします。
- ③給食終了後は、昼休みまたは放課後まで健康観察を行います。
- ④定期的な受診等で対応の見直しが必要になった場合は、速やかに給食センターに連絡します。
- ⑤新規発症等の場合は、家庭・学校・給食センターで情報の共有をします。

(3) 牛乳アレルギーの対応

牛乳アレルギーにより、牛乳を飲むことのできない児童生徒は、保護者が医師による診断書等を学校に提出し、学校が **様式15** で給食センターへ申請することにより、申請のあった期間の牛乳代金が減額されます。なお、食品のアレルギーによる減額は、牛乳アレルギーのみです。

IV 学校における緊急時の対応

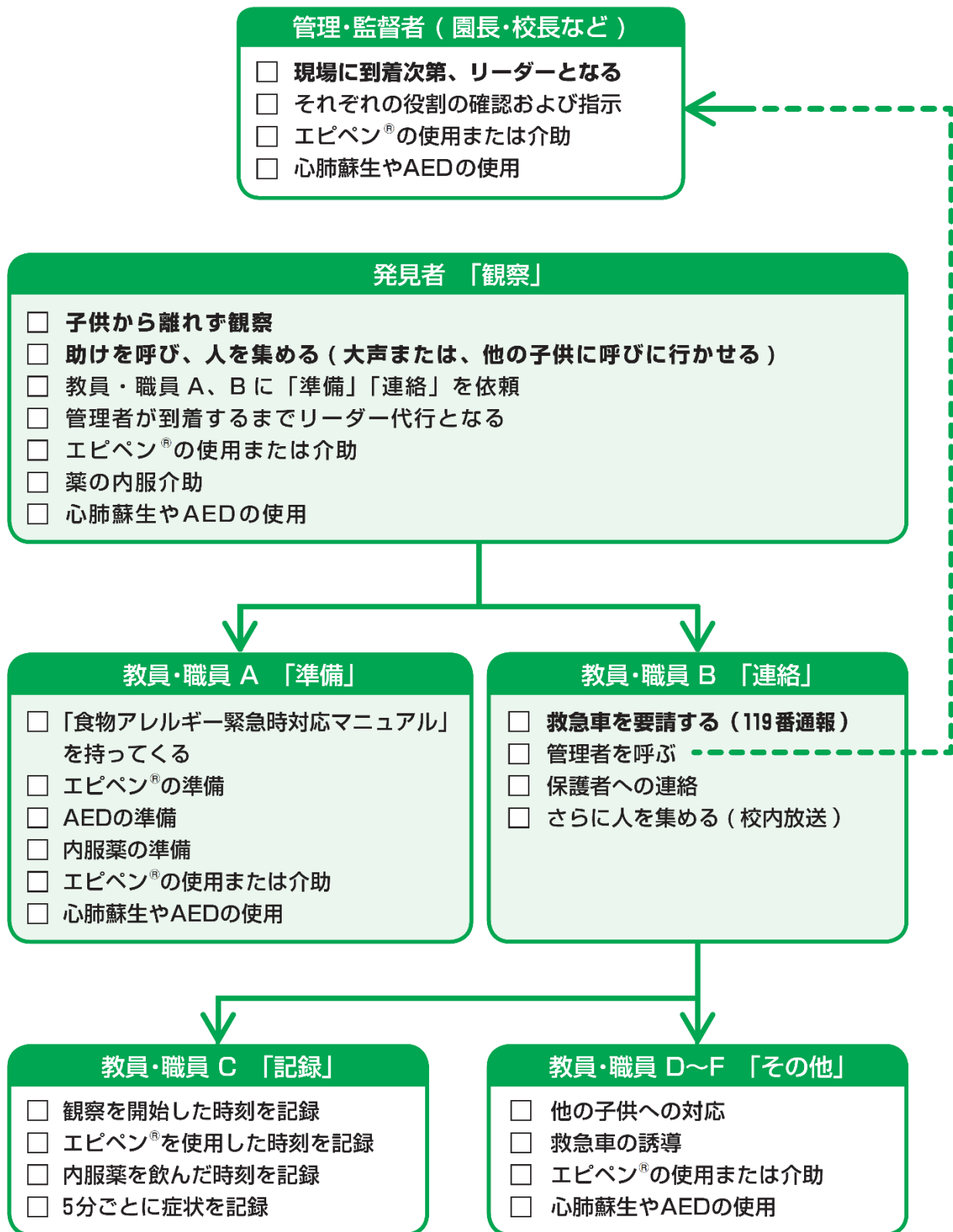
アレルギー症状への対応の手順



A

施設内での役割分担

◆各々の役割分担を確認し事前にシミュレーションを行う



B

緊急性の判断と対応

◆アレルギー症状があったら5分以内に判断する！

◆迷ったらエピペン®を打つ！ ただちに119番通報をする！

B-1 緊急性が高いアレルギー症状

【全身の症状】

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくいまたは不規則
- 唇や爪が青白い

【呼吸器の症状】

- のどや胸が締め付けられる
 - 声がかすれる
 - 犬が吠えるような咳
 - 息がしにくい
 - 持続する強い咳き込み
 - ゼーゼーする呼吸
- (ぜん息発作と区別できない場合を含む)

【消化器の症状】

- 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み
- 繰り返し吐き続ける

1つでもあてはまる場合

ない場合

B-2 緊急性が高いアレルギー症状への対応

① ただちにエピペン®を使用する！

→ **C** エピペン®の使い方

② 救急車を要請する(119番通報)

→ **D** 救急要請のポイント

③ その場で安静にする(下記の体位を参照)

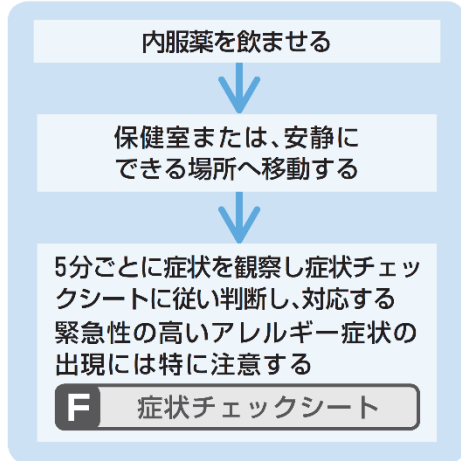
立たせたり、歩かせたりしない！

④ その場で救急隊を待つ

⑤ 可能なら内服薬を飲ませる

◆ エピペン®を使用し10～15分後に症状の改善が見られない場合は、次のエピペン®を使用する(2本以上ある場合)

◆ 反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行う → **E** 心肺蘇生とAEDの手順



安静を保つ体位

ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下している可能性があるため仰向けで足を15～30cm高くする

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横に向ける

呼吸が苦しく仰向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を起こし後ろに寄りかからせる

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け
エピペン[®]を取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを
下に向け、利き手で持つ

“グー”で握る!

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペン[®]の先端
(オレンジ色の部分)を軽くあて、
“カチッ”と音がするまで強く押し
あてそのまま5つ数える

**注射した後すぐに抜かない!
押しつけたまま5つ数える!**

⑤ 確認する



使用前 使用後

エピペン[®]を太ももから離しオレ
ンジ色のニードルカバーが伸び
ているか確認する

伸びていない場合は「④に戻る」

⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、
マッサージする

介助者がいる場合



介助者は、子供の太ももの付け根と膝を
しっかり抑え、動かないように固定する

注射する部位

- 衣類の上から、打つことができる
- 太ももの付け根と膝の中央部で、かつ真ん中 (A) よりやや外側に注射する

仰向けの場合



座位の場合



D

救急要請（119番通報）のポイント

◆あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える



119番、
火事ですか？
救急ですか？

救急です。



①救急であることを伝える



住所はどこですか？

○区（市町村）○町
○丁目○番○号
○〇保育園
（幼稚園、学校名）です。



②救急車に来てほしい住所を伝える

住所、施設名をあらかじめ記載しておく



どうしましたか？

5歳の園児が
給食を食べたあと、
呼吸が苦しいと
言っています。



③「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」をわかる範囲で伝える

エピペン[®]の処方やエピペン[®]の使用の有無を伝える



あなたの名前と
連絡先を教えてください

私の名前は
○×□美です。
電話番号は…



④通報している人の氏名と連絡先を伝える

119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える

※向かっている救急隊から、その後の状態確認等のため電話がかかってくることもある

- 通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
- その際、救急隊が到着するまでの応急手当の方法などを必要に応じて聞く

- ◆強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を！
- ◆救急隊に引き継ぐまで、または子供に普段通りの呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける

①反応の確認
肩を叩いて大声で呼びかける
乳幼児では足の裏を叩いて呼びかける

反応がない

②通報
119番通報とAEDの手配を頼む

③呼吸の確認
10秒以内で胸とお腹の動きを見る

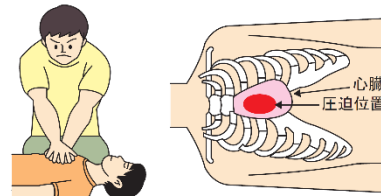
普段通りの呼吸をしていない

※普段通りの呼吸をしているようなら、観察を続けながら救急隊の到着を待つ

④必ず胸骨圧迫！ 可能なら人工呼吸！
30:2
ただちに胸骨圧迫を開始する
人工呼吸の準備ができ次第、可能なら人工呼吸を行う

⑤AEDのメッセージに従う
電源ボタンを押す
パッドを貼り、AEDの自動解析に従う

【胸骨圧迫のポイント】



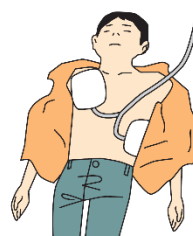
- ◎強く（胸の厚さの約1/3）
- ◎速く（100～120回/分）
- ◎絶え間なく（中断を最小限にする）
- ◎圧迫する位置は「胸の真ん中」

【人工呼吸のポイント】



- 息を吹きこむ際
- ◎約1秒かけて
- ◎胸の上がりが見える程度

【AED装着のポイント】



- ◎電極パッドを貼り付ける時も、できるだけ胸骨圧迫を継続する
- ◎電極パッドを貼る位置が汗などで濡れていたらタオル等でふき取る
- ◎6歳くらいまでは小児用電極パッドを貼る。なければ成人用電極パッドで代用する

【心電図解析のポイント】



- ◎心電図解析中は、子供に触れないように周囲に声をかける

【ショックのポイント】



- ◎誰も子供に触れていないことを確認したら、点滅しているショックボタンを押す

F

症状チェックシート

◆症状は急激に変化することがあるため、5分ごとに、注意深く症状を観察する

◆ の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン[®]を使用する
(内服薬を飲んだ後にエピペン[®]を使用しても問題ない)

観察を開始した時刻(時 分) 内服した時刻(時 分) エピペン[®]を使用した時刻(時 分)

全身の症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくいまたは不規則
- 唇や爪が青白い

呼吸器の症状

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 息がしにくい
- 持続する強い咳き込み
- ゼーゼーする呼吸

- 数回の軽い咳

消化器の症状

- 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み
- 繰り返し吐き続ける

- 中等度のお腹の痛み
- 1～2回のおう吐
- 1～2回の下痢

- 軽いお腹の痛み (がまんできる)
- 吐き気

目・口・鼻・顔面の症状

- 顔全体の腫れ
- まぶたの腫れ

- 目のかゆみ、充血
- 口の中の違和感、唇の腫れ
- くしゃみ、鼻水、鼻づまり

皮膚の症状

- 強いかゆみ
- 全身に広がるじんま疹
- 全身が真っ赤

- 軽度のかゆみ
- 数個のじんま疹
- 部分的な赤み

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

- ①ただちにエピペン[®]を使用する
- ②救急車を要請する(119番通報)
- ③その場で安静を保つ
(立たせたり、歩かせたりしない)
- ④その場で救急隊を待つ
- ⑤可能なら内服薬を飲ませる

B 緊急性の判断と対応 B-2参照

**ただちに救急車で
医療機関へ搬送**

- ①内服薬を飲ませ、エピペン[®]を準備する
- ②速やかに医療機関を受診する
(救急車の要請も考慮)
- ③医療機関に到着するまで、5分ごとに症状の変化を観察し、 の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン[®]を使用する

**速やかに
医療機関を受診**

- ①内服薬を飲ませる
- ②少なくとも1時間は5分ごとに症状の変化を観察し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する

**安静にし、
注意深く経過観察**

V 様式集

- ① 様式 1 食品を扱う授業（行事等）についての報告書
- ② 様式 2 食物アレルギーによるアナフィラキシー（疑い含む）報告書
- ③ 様式 3 学校生活における食物アレルギー調査についてのお願い
- ④ 様式 4 食物アレルギー調査
- ⑤ 様式 5 『学校生活管理指導表』
- ⑥ 様式 6 食物アレルギー個別支援プラン
- ⑦ 様式 7 食物アレルギー調査のお願い ※在校生用
- ⑧ 様式 8 食物アレルギー調査のお願い ※小学校 1 年用
- ⑨ 様式 9 食物アレルギーに関する確認票
- ⑩ 様式 10 『学校生活管理指導表』等の提出についてのお願い
- ⑪ 様式 11 食物アレルギー対応児童生徒一覧表 ※給食センター提出用
- ⑫ 様式 12 献立表
- ⑬ 様式 13 献立表（案）
- ⑭ 様式 14 加工食品成分表
- ⑮ 様式 15 牛乳アレルギーによる給食費減額申請書

校長	教頭	教務主任	報告者	

食品を扱う授業（行事等）についての報告書

報告日 年 月 日

- 1 授業者（ ）
- 2 授業日・時間 年 月 日（ ） ・ 校時
- 3 クラス（ ）
- 4 教科・単元等（ ）
- 5 食物アレルギーを有する児童生徒氏名（ ）
- 6 取扱食品の概要

取扱食品 メニュー	原材料			調理方法 (具体的に記載)
	原材料名	仕入れ先	保存方法	

報告先：八千代町教育委員会学校教育課 FAX：49-3428（送信状不要）

※発症後速やかに、学校教育課に電話連絡をしてください。TEL：48-1519

※現在分かる範囲で記入のうえ送信し、その後の状況を随時送信してください。

食物アレルギーによるアナフィラキシー（疑い含む）報告書

送信日時	年 月 日 時 分 第 報
送信者氏名	

1 発症日 年 月 日（ ）

2 学校名 _____

3 発症者氏名 _____ 年 組（ 男 ・ 女 ）

- ・食物アレルギーの既往（無・有）（原因食物： ）
- ・その他の既往症（無・有）（疾患名： ）
- ・当日の給食対応・除去等対応（無・有）
- ・エピペン®の処方（無・有）
- ・今回のエピペン®使用（無・有）
- ・今回の救急車要請（無・有）その他の手段（ ）

4 搬送医療機関名

- ・保護者の付添い（有・無）
- ・教職員の付添い者（職名： 氏名： ）※管理職が付き添うこと。

5 発症時の状況と対応

- ・発症時刻 午前・午後 時 分（給食前・給食中・給食後）
- ・発症時の症状（ ）
- ・発症時の対応※発症から現在までの対応を時系列で記入すること。

時	分	
時	分	
時	分	
時	分	
時	分	
時	分	

6 発症者の状態（ 月 日 時 分現在）

- ・医師の診断：

保護者の皆様

八千代町教育委員会
学 校 教 育 課

学校生活における食物アレルギー調査についてのお願い

来年度の学校生活において、お子様の食物アレルギーについて実態を把握するため、下記にご記入のうえ、全員、就学时健康診断の受付時に学校へご提出ください。

児童氏名 _____
保護者氏名 _____
電話番号 _____

1. お子様には食物アレルギーがありますか。
() いいえ⇒(質問は以上です) () はい(2～7の質問に回答してください)

2. 原因となる食物すべてと、食べてしまった後に起こる症状をお書きください。書ききれない場合には余白にお書きください。

食 物 名	症 状

3. 医師の診断を受けていますか。
() いいえ () はい⇒ 診断の時期 _____ 年 _____ 月ごろ

医療機関名 _____

4. アナフィラキシーショックの経験はありますか。
() いいえ () はい⇒ 回数 _____ 回 最後の発症時期 _____ 年 _____ 月ごろ

原因 _____ 症状 _____

5. 緊急時に備えた薬の処方をされていますか。
() いいえ () はい⇒ () ①内服薬(抗ヒスタミン薬, ステロイド薬)
() ②アドレナリン自己注射薬(「エピペン®」)
() ③その他 _____

6. 幼稚園や保育園等に行っている場合、現在の給食について。
() ①他の園児と同じ給食を食べている。 () ②除去食(代替食)の給食を食べている。
() ③毎日弁当を持参している。 () ④献立により、弁当を持参している。

7. 入学前に、学校との給食の打ち合わせが必要ですか。
() いいえ () はい



食物アレルギー調査（小学校）

学校名（）
 氏名

○ 児童の食物アレルギーの有無を知り、学校生活の中で配慮していきます。
 該当事項に○をつけ、必要な場合記入してください。

	1 今までにアレルギー症状が出たことがありますか	1 で「ある」と答えた人だけお答えください				
		2 アレルギーを起こす食べ物と、その対処法について記入してください		3 診断を受けたことはありますか（病院名・薬）	4 学校生活（給食を含む）における対応	5 問4についての意見や要望を記入してください
		対処法	食品名			
1年組番	・ある どのような時にどのような症状になりますか () ・ない	食べさせている ----- 食べさせていない		・あり 病院名 () 学校で使用する薬があれば○印 (飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)	・希望する ・希望しない	
2年組番	・ある どのような時にどのような症状になりますか () ・ない	食べさせている ----- 食べさせていない		・あり 病院名 () 学校で使用する薬があれば○印 (飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)	・希望する ・希望しない	
3年組番	・ある どのような時にどのような症状になりますか () ・ない	食べさせている ----- 食べさせていない		・あり 病院名 () 学校で使用する薬があれば○印 (飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)	・希望する ・希望しない	
4年組番	・ある どのような時にどのような症状になりますか () ・ない	食べさせている ----- 食べさせていない		・あり 病院名 () 学校で使用する薬があれば○印 (飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)	・希望する ・希望しない	
5年組番	・ある どのような時にどのような症状になりますか () ・ない	食べさせている ----- 食べさせていない		・あり 病院名 () 学校で使用する薬があれば○印 (飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)	・希望する ・希望しない	

※6年生は裏面になります

秘

食物アレルギー調査

氏名

	1 今までにアレルギー症状が出たことがありますか	1 で「ある」と答えた人だけお答えください				
		2 アレルギーを起こす食べ物と、その対処法について記入してください		3 診断を受けたことはありますか (病院名・薬)	4 学校生活(給食を含む)における対応	5 問4についての意見や要望を記入してください
		対処法	食品名			
6年組番	<p>・ある</p> <p>どのような時にどのような症状になりますか</p> <p>()</p> <p>・ない</p>	<p>食べさせている</p> <hr/> <p>食べさせていない</p>	<p>・あり ・なし</p> <p>病院名</p> <p>()</p> <p>学校で使用する薬があれば○印</p> <p>(飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)</p>	<p>・希望する</p> <p>・希望しない</p>		

秘

食物アレルギー調査(中学校)

学校名 ()

氏名

- 児童の食物アレルギーの有無を知り、学校生活の中で配慮していきます。
該当事項に○をつけ、必要な場合記入してください。

	1 今までにアレルギー症状が出たことがありますか	1 で「ある」と答えた人だけお答えください				
		2 アレルギーを起こす食べ物と、その対処法について記入してください		3 診断を受けたことはありますか (病院名・薬)	4 学校生活(給食を含む)における対応	5 問4についての意見や要望を記入してください
		対処法	食品名			
中1年組番	<p>・ある</p> <p>どのような時にどのような症状になりますか</p> <p>()</p> <p>・ない</p>	<p>食べさせている</p> <hr/> <p>食べさせていない</p>	<p>・あり ・なし</p> <p>病院名</p> <p>()</p> <p>学校で使用する薬があれば○印</p> <p>(飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)</p>	<p>・希望する</p> <p>・希望しない</p>		
中2年組番	<p>・ある</p> <p>どのような時にどのような症状になりますか</p> <p>()</p> <p>・ない</p>	<p>食べさせている</p> <hr/> <p>食べさせていない</p>	<p>・あり ・なし</p> <p>病院名</p> <p>()</p> <p>学校で使用する薬があれば○印</p> <p>(飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)</p>	<p>・希望する</p> <p>・希望しない</p>		
中3年組番	<p>・ある</p> <p>どのような時にどのような症状になりますか</p> <p>()</p> <p>・ない</p>	<p>食べさせている</p> <hr/> <p>食べさせていない</p>	<p>・あり ・なし</p> <p>病院名</p> <p>()</p> <p>学校で使用する薬があれば○印</p> <p>(飲み薬 塗り薬 点眼薬 エピペン 他)</p>	<p>・希望する</p> <p>・希望しない</p>		

名前	男・女	年 月 日 生 (歳)	学 校	年 組	提 出 日	年 月 日
緊急時連絡先						
★保護者 電話： ★連絡医療機関 医療機関名： 電話：						
学校生活上の留意点						
A. 運動 (体育・部活動等) 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 3. 強い運動は不可 B. 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いいため不可 動物名 () C. 宿泊を伴う校外活動 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 D. その他の配慮・管理事項 (自由記載)						
記載日 年 月 日 医師名 医療機関名						
学校生活上の留意点						
A. プール指導及び長時間の系外線下での活動 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. (学校施設で可能な場合) 夏季シャワー浴 B. 動物との接触 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. 動物へのアレルギーが強いため不可 動物名 [] C. 発汗後 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 3. (学校施設で可能な場合) 夏季シャワー浴 D. その他の配慮・管理事項 (自由記載)						
記載日 年 月 日 医師名 医療機関名						
学校生活上の留意点						
A. プール指導 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 3. プールへの入水不可 B. 屋外活動 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 C. その他の配慮・管理事項 (自由記載)						
記載日 年 月 日 医師名 医療機関名						

表 学校生活管理指導表 (アレルギー疾患用)

©日本学校保健会作成



食物アレルギー個別支援プラン

年度入学

氏 名	性 別
ふりがな	

学 校 名											
学年	組	番号	確認者印								
			校長	教頭							



食物アレルギー個別支援プラン

年度入学

氏 名	性 別
ふりがな	

学 校 名										
学年	組	番号	確認者印							
			校長	教頭						

食物アレルギー個別支援プラン

入学年度	氏 名	性 別	生年月日
年度	ふりがな	男 ・ 女	年 月 日

◇ 原因食品と症状

記入年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
原因食品					
食物アレルギー病型 <small>※学校生活管理指導表より該当</small>					
家庭での除去の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・全く食べさせていない ・食べさせている ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・全く食べさせていない ・食べさせている ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・全く食べさせていない ・食べさせている ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・全く食べさせていない ・食べさせている ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・全く食べさせていない ・食べさせている ・その他
微量混入での発症の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
アナフィラキシー既往歴	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
発症時の症状	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚のかゆみ, じんましん ・目のかゆみ, まぶたの腫れ ・腹痛 ・吐き気, 嘔吐 ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚のかゆみ, じんましん ・目のかゆみ, まぶたの腫れ ・腹痛 ・吐き気, 嘔吐 ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚のかゆみ, じんましん ・目のかゆみ, まぶたの腫れ ・腹痛 ・吐き気, 嘔吐 ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚のかゆみ, じんましん ・目のかゆみ, まぶたの腫れ ・腹痛 ・吐き気, 嘔吐 ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚のかゆみ, じんましん ・目のかゆみ, まぶたの腫れ ・腹痛 ・吐き気, 嘔吐 ・その他
発症の前兆					
頻 度	<ol style="list-style-type: none"> 1 必ず出る 2 ほとんど出る 3 時々出る 4 その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1 必ず出る 2 ほとんど出る 3 時々出る 4 その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1 必ず出る 2 ほとんど出る 3 時々出る 4 その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1 必ず出る 2 ほとんど出る 3 時々出る 4 その他 	<ol style="list-style-type: none"> 1 必ず出る 2 ほとんど出る 3 時々出る 4 その他

※ 食物アレルギー病型 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー

食物アレルギー個別支援プラン

入学年度	氏 名	性 別	生年月日
年度	ふりがな	男 ・ 女	年 月 日

◇ 具体的配慮及び対応

記入年月日	年 月 日		
保護者氏名			
保護者確認印			
学年・組	年 組		
担任名			
学校生活において配慮してほしいこと	給 食	当番 (配膳 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常実施可 ・ 原因食品以外 ・ その他
		会食	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常実施可 ・ 別室対応 ・ その他
		片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常実施可 ・ 個別対応 ・ その他
		食後の 運動 (昼休み)	
	食品を 扱う学習 (調理実習等)		
	体育 ・ 運動会		
	遠足 ・ 校外学習		
	宿泊を伴う 校外学習		
	その他		
	周囲の児童生徒 への対応		
周囲の児童生徒 への周知	可 ・ 不可		

保護者の皆様

八千代町教育委員会教育長
八千代町立 学校長

食物アレルギー調査のお願い

早春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、お子様の健康管理および給食指導の参考にするため、食物アレルギー調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。別紙「食物アレルギー調査」の次年度の学年の欄に必要事項をご記入の上、ご提出をお願いいたします。

なお、食物アレルギー調査の内容によっては、必要に応じて医師による診断『学校生活管理指導表』の提出や、個別に面談を行う機会を設けさせていただきますので、その旨ご了承ください。

※ 新年度からの学校生活に支障の無いように、前もって今年度中に準備をしていきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

小学6年生に関しましては、調査の結果等は中学校に引き継ぎいたします。

記

- 1 提出期限 : 年 月 日
- 2 提出先 : 学級担任

〈八千代町 食物アレルギーについての対応の流れ〉

食物アレルギーについて学校での対応は、以下の手順で行います。お子様の安全を第一に考えて対応したいと考えております。ご協力よろしくをお願いいたします。

- ① 食物アレルギーの有無の把握：食物アレルギー調査（本調査）
- ② 『学校生活管理指導表』の提出：医師による診断
- ③ 学校対応のための個別支援プラン作成
※保護者と学校、給食センターによる面談で作成
- ④ 各学校での対応

小学1年生
保護者の皆様

八千代町教育委員会教育長
八千代町立 学校長

食物アレルギー調査のお願い

春暖の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、お子様の健康管理および給食指導の参考にするため、食物アレルギー調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。別紙「食物アレルギー調査」の小学校1年生の欄に必要事項をご記入の上、ご提出をお願いいたします。

なお、食物アレルギー調査の内容によっては、必要に応じて医師による診断『学校生活管理指導表』の提出や、個別に面談を行う機会を設けさせていただきますので、その旨ご了承ください。

※ 入学後の学校生活に支障の無いように、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※ 就学時健診時のアンケートにより、すでに『学校生活管理指導表』をご提出されている場合や、個別面談を実施されている場合でも、ご記入をお願いいたします。

記

- 1 提出期限 : 年 月 日
2 提出先 : 学級担任

〈八千代町 食物アレルギーについての対応の流れ〉

食物アレルギーについて学校での対応は、以下の手順で行います。お子様の安全を第一に考えて対応したいと考えております。ご協力よろしくをお願いいたします。

- ① 食物アレルギーの有無の把握：食物アレルギー調査（本調査）
- ② 『学校生活管理指導表』の提出：医師による診断
- ③ 学校対応のための個別支援プラン作成
※保護者と学校、給食センターによる面談で作成
- ④ 各学校での対応

食物アレルギーに関する確認票

記入日 年 月 日

八千代町立 学校 児童生徒 氏名 _____

保護者 氏名 _____

1 保護者の緊急連絡先をご記入ください。

優先順位	氏名	続柄	電話番号	連絡先
1				自宅・職場・携帯
2				自宅・職場・携帯
3				自宅・職場・携帯

2 緊急時に搬送する医療機関（かかりつけ医等）がありますか。

- なし
- あり

病院名		主治医名	
住所		電話番号	

3 現在、食物アレルギー治療のため、処方されている薬はありますか。

- ない
- ある
 - 内服薬 ()
 - 外用薬 ()
 - 吸入薬 ()
 - 注射薬 (◇アドレナリン自己注射〈エピペン®〉) ()
 - その他 ()

4 学校へ携帯する薬はありますか。

- ない
- ある 薬品名 () 投薬方法 ()

5 お子様は自身で薬品の管理および使用ができますか。

- はい
- いいえ ※面談時に、具体的な管理方法，使用方法について相談します。

6 食物アレルギーを起こす原因食品は何ですか。

食品名	アレルギーを起こす量	加熱の有無	加工食品，調味料等に 含まれる微量の食物
	◇少量でも不可 ◇体調による ◇その他 ()	◇加熱をすれば可 ◇体調による ◇その他 ()	◇可 ◇不可 ◇その他 ()
	◇少量でも不可 ◇体調による ◇その他 ()	◇加熱をすれば可 ◇体調による ◇その他 ()	◇可 ◇不可 ◇その他 ()
	◇少量でも不可 ◇体調による ◇その他 ()	◇加熱をすれば可 ◇体調による ◇その他 ()	◇可 ◇不可 ◇その他 ()

※この調査票をもとに、面談を実施します。漏れのないようにご記入ください。

保護者の皆様

八千代町教育委員会教育長
八千代町立 学校長

『学校生活管理指導表』等の提出についてのお願い

●●の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日行いました食物アレルギー調査に基づき、食物アレルギーを有する児童生徒の学校生活をより安全で安心なものとするため、食物アレルギーについて詳しい情報を把握し、適切に対応するように努めていきたいと考えております。

つきましては、学校生活において特に配慮や健康管理が必要な場合は、別添『学校生活管理指導表』を主治医に記入していただき、学校にご提出くださいますようお願いいたします。

なお、ご提出いただいた『学校生活管理指導表』等をもとに、学校での具体的な取り組みやより適切な健康管理、対応方法等を検討するため、保護者の方と面談をすることとしておりますので、ご協力をお願いいたします。

記

- 1 提出物 『学校生活管理指導表』：主治医が記入
「食物アレルギーに関する確認票」：保護者が記入
- 2 提出期限 : 年 月 日

〈八千代町 食物アレルギーについての対応の流れ〉

食物アレルギーについて学校での対応は、以下の手順で行います。お子様の安全を第一に考えて対応したいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

- ① 食物アレルギーの有無の把握：食物アレルギー調査
- ② 『学校生活管理指導表』の提出：医師による診断
- ③ 学校対応のための個別支援プラン作成
※保護者と学校、給食センターによる面談で作成
- ④ 各学校での対応

食物アレルギー対応児童生徒一覧表

提出日 年 月 日

年度

学校長

印

	年	組	番号	氏名	アレルギー	医療機関名	配慮事項 (薬・その他)	給食時の対応		提供資料		診断書等の 添付有無	
								自己 除去	弁当 持参	アレルギー 用 予定	加工食品 成分表	有	無
例	1	1	1	八千代太郎	乳	八千代クリニック	自分で除去できる	○		○			
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													

※『学校生活管理指導表』を提出している児童生徒のみ記入してください。

※4月の人員報告期限日までに学校給食センターへ提出してください。

※変更があった場合はその都度提出してください。

記載の仕方の例) 3名の対応者があり、年度途中で2名増えた場合、5名分記載する。

※アレルギー対応が不要になった場合は、二重線で抹消し提出してください。

①配付用献立表

○ 月 分 献 立 表

(給食回数 13回)

八千代町立学校給食センター

日	曜日	献立名	おもな材料と体内での働き						栄養価	
			おもに体をつくる		おもにからだの調子を整える		おもにエネルギーになる		エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)
			たんぱく質	無機質	ビタミン・無機質		炭水化物	脂質		
			1群 魚・肉・卵・豆・豆製品	2群 牛乳・小魚・海藻	3群 緑黄色野菜	4群 その他野菜・きのこ・果物	5群 穀類・いも類・砂糖	6群 種実類・油脂		
9	火	にしよごはん(むぎごはん にくそぼろ たまごそぼろ) 牛乳 わかめスープ おいわいデザート(中学校のみ)	ぶたにく だいず たまご	牛乳	にんじん	しょうが	むぎごはん さとう でんぶん	あぶら	636	26.4
10	水	しろうまたんたんうどん 牛乳 おこのみやき【おこのみソース】 はくさいのツナあえ	とりにく ちくわ あぶらあげ みそ	牛乳	にんじん	たまねぎ キャベツ ながねぎ	ソフトめん さとう	ごま	583	22.9
11	木	コッペパン キャラメルクリーム 牛乳 ホキのバジルやき ポテトサラダ カレースープ	ホキ	牛乳	バジル パセリ	にんにく	じゃがいも	マヨネーズ	623	24.7
12	金	ごはん 牛乳 コロッケ ぶたキムチいため ビーフンスープ		牛乳		たまねぎ	じゃがいも パンこ さとう こむぎこ	マーガリン あぶら	669	21.6
15	月	ごはん 牛乳 ハンバーグデミグラスソースかけ こまつなのソテー はくさいのスープ おいわいデザート(小学校のみ)	とりにく ぶたにく	牛乳		たまねぎ マッシュルーム トマト	パンこ でんぶん さとう		647	22.9
16	火	ごはん 牛乳 さばのぶんかほし なのはなのごまあえ はるやさいのみそしる	さば	牛乳	なのはな にんじん	キャベツ とうもろこし	さとう	ごま ごまあぶら	638	24.8
17	水	ふるさどうどん 牛乳 八葉丸たまごやき あおりのフライドポテト	ぶたにく あぶらあげ	牛乳	ほうれんそう にんじん	ごぼう はくさい ながねぎ	ソフトめん	ごまあぶら	620	23.8
18	木	チョコチップパン 牛乳 とりにくのバターしょうゆやき はなやさいサラダ BLTスープ	とりにく	牛乳	ブロッコリー	カリフラワー きゅうり とうもろこし	じゃがいも	あぶら	668	26.8
19	金	カレーライス(むぎごはん カレーシチュー) 牛乳 とうふナゲット(2こ) わかめサラダ カットオレンジ(学配)	ぶたにく	牛乳 脱脂粉乳	にんじん トマト	たまねぎ にんにく しょうが りんご	むぎごはん じゃがいも	あぶら	730	19.5
23	火	ごはん 牛乳 あじのうめしおこうじやき れんこんのきんぴら ごじる チーズ	あじ	牛乳		うめ	さとう		645	28.9
24	水	しょうゆラーメン 牛乳 はるまき ごぼうサラダ	やきぶた なた	牛乳 わかめ	にんじん	ながねぎ もやし たけのこ しょうが	ちゅうかめん	ごまあぶら	713	23.1
25	木	コッペパン メープルジャム 牛乳 れんこんいりにくだんご(小2こ 中・職3こ) ナポリタン グリーンポタージュ	とりにく たまご	牛乳 脱脂粉乳	れんこん たまねぎ	たまねぎ マッシュルーム	パンこ さとう	あぶら	675	25.1
26	金	ごはん 牛乳 にくシューマイ(小2こ 中・職3こ) とうふのちゅうかに あんにとんどうふ	ぶたにく	牛乳		たまねぎ しょうが	でんぶん さとう こむぎこ	あぶら	654	24.0
			とうふ ぶたにく えび いか	なまクリーム	にら にんじん	たまねぎ ししげ にんにく しょうが	でんぶん さとう	ごまあぶら	830	29.6

※都合により、献立内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

※この献立表に記載されている食品は、主な材料で調味料やハンバーグ、春巻きなどの加工食品に含まれるアレルギー等、使用食材のすべては記載していません。

(アレルギー対応を受けている児童生徒と保護者の方はアレルギー用予定献立表および加工食品成分表をご確認ください。)

※魚料理については「骨」がある場合がありますので、気をつけて食べてください。

※減塩のため、しょうゆやソース等は使用を控えています。ご協力をお願いします。

平成29年度4月からこの一文が入ります。食物アレルギー対応を受けている生徒・保護者については、別紙のアレルギー用予定献立表・加工食品成分表(原材料配合表)で材料の確認をします。

②アレレギー用予定献立表

献立表 (案) (児童用)

【献立名】310410 ごま坦々うどん 牛乳 白菜のツナ和え
お好み焼き ソース

使用日 年 月 日
八千代町立学校給食センター

個数提供時の総重量	児童一人当たり 正味重量	廃棄率	たんぱく質	脂質	ナトリウム	Ca	マグネシウム	鉄	亜鉛	ビタミン				加熱区分		
										A	B1	B2	C	塩分	食物繊維	
g	g	%	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	mg	g	g
1300002	144.50		349	13.4	9.0	1420	147	34	3.38	0.6	76	0.11	0.07	6	1.78	3.4
01040	60.00	1.00 個	214	5.9	1.2	797	14	13	0.48	0.4		0.07	0.02		0.18	1.7
123010	10.00		15	1.8	0.7	5		0.10				0.01	0.02		0.01	
06153	12.00		5	0.1		3	1	0.02						1		0.2
06212	10.00		5	0.1		2	3	0.02				0.01			0.01	0.3
06061	10.00		15	0.1		1	4	0.03						4		0.2
06226	5.00		5			2	1	0.01						1		0.1
1038106	10.00		10	1.2	0.1	89	1	0.01							0.23	
0404001	8.00		31	1.5	2.6	1	24	0.34	0.2							
17007A	5.00		4	0.4		285	1	0.09					0.01		0.73	
03003	1.00		4													
1704801	4.50		9	0.6	0.3	221	5	1.80							0.56	0.2
0501701	4.50		27	0.9	2.4	54		0.45				0.02	0.01			0.6
0501702	3.00		18	0.5	1.7	35										
170191A	1.50		6	0.3		19	1	0.03					0.01		0.06	
2100001	206.00		122	6.0	6.6	103	206	27	0.21	0.8		0.06	0.31		0.27	
1300401	206.00	1.00 本	122	6.0	6.6	103	206	27	0.21	0.8		0.06	0.31		0.27	
183800C							4	0.24	0.2		14	0.03	0.05	6	0.08	0.4
1700125								0.16							0.42	
3070046							1	0.82	0.1		143	0.02	0.03	10	0.37	1.3
06233							4	0.11	0.1		3	0.01	0.01	7		0.5
0608613							2	0.32			78	0.01	0.01	3		0.4
06212							1	0.02			61				0.01	0.2
090310A							3	0.28			1		0.01		0.02	0.2
1026106							1	0.06							0.05	
17007A							1	0.03							0.29	

配付用の献立表には、お好み焼きなどの加工食品に含まれる詳細な材料は明記してありません。
加工食品成分表(原材料配合表)でアレレギーを確認します。
※★印のない毎月利用する食品については、学期ごとに変更しているため、使用頻度の高い調味料・ドレッシング類⇒「学期分原材料配合表」を確認。
年間で入れている食品⇒「年間分原材料配合表」を確認。

加工食品成分表



商品内容表

製品コードNo. 96534
品名: 国産鶏豚使用のハンバーグ60(卵・乳不使用)
規格: 60X25X4

これは見本です。
記述されている項目や様式は
メーカーによって異なります。

栄養成分(製品100g当り)		原料組成(製品100g当り)					
		材料名	組成%	アレルゲン	産原料産地	使用目的	
エネルギー	222 kcal	鶏肉(国産)	37.2	鶏肉	日本		
水分	59.6 g	たまねぎ	18.6		日本		
蛋白質	動物性	10.1 g	豚脂	9.9	豚肉	日本、他	
	植物性	3.8 g	パン粉	5.9	小麦	日本(加工地)	
脂質	13.5 g	豚肉(国産)	5.0	豚肉	日本		
炭水化物	11.0 g	穀状植物性たん白	5.0	大豆	日本(加工地)		
灰分	2.0 g	水溶性食物繊維	1.8				
無機質	Na	388 mg	砂糖	0.8			
	K	318 mg	食塩	0.8			
	Ca	130 mg	発酵調味料	0.2			
	Mg	36 mg	香辛料	0.1			
	リン	171 mg	液状混合調味料	0.1			
	鉄	2.3 mg	しょうがペースト	0.1			
	亜鉛	0.8 mg	海藻ミネラル	0.1			
	銅	0.12 mg	鉄含有パン酵母	φ			
	マンガン	0.23 mg	海洋深層水ミネラル	φ			
	ビタミン	レチノール	18 μg	水	14.4		
		カロテン	1 μg				
		レチノール活性当量	18 μg				
		D	0 μg				
	E	0.2 mg					
	K	8 μg					
	B1	0.15 mg					
	B2	0.12 mg					
	ナイアシン	3.6 mg					
	B6	0.38 mg					
	B12	0.2 μg					
	葉酸	30 μg					
	パントテン酸	0.88 mg					
	G	2 mg					
脂肪酸	飽和	5.01 g					
	一価不飽和	5.48 g					
	多価不飽和	1.85 g					
コレステロール	42 mg						
食物繊維総量	3.1 g						
食塩相当量	1.0 g						
合計			100%				

加工食品・調味料等は、原材料配合表にて
詳細な成分を確認します。

表示対象アレルゲン: 小麦、大豆、鶏肉、豚肉

アレルゲンは特定原材料7品目及び特定原材料に準ずる20品目を記載。栄養成分は五訂標準成分表に基づいておこなった計算値。

2016/07/30

牛乳アレルギーによる給食費減額申請書

下記児童・生徒について、アレルギーのため牛乳を飲むことができないとの申し出がありましたので、給食費について、牛乳分の減額を申請します。

新規・継続の別 (○をつける)	新規 ・ 継続
所属校 (年組)	小学校 ・ 中学校 (年 組)
児童・生徒氏名	
保護者氏名	
保護者住所・電話番号	住所 (☎ - -)
牛乳を飲まない期間 (減額を希望する期間)	年 月 日 ~ 年 月 日
診断書等の提出の有無	提 出 あり ・ 提 出 な し (提出ありの場合 学校提出日： 年 月 日)

年 月 日

学校名 _____

学校長名 _____ 印

八千代町教育委員会教育長 殿

出典

○引用・参考

- ・「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」平成 20 年 財団法人 日本学校保健会
- ・「学校における食物アレルギー対応の手引き」平成 25 年 茨城県教育庁保健体育課
- ・「学校における食物アレルギー対応マニュアル」平成 26 年 9 月 水戸市教育委員会
- ・「学校給食における食物アレルギー対応指針」平成 27 年 文部科学省

○転載

- ・ p.19～p.25 は、東京都の許諾を得て、東京都健康安全研究センター発行「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を掲載しています（一部改変）。

【承認番号 29 健研健第 1564 号】

- ・ p.32～p.33（様式 5）「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」 財団法人 日本学校保健会

学校生活における食物アレルギー対応の手引き

（平成 30 年 2 月発行）

（平成 31 年 3 月改訂）

（令和 3 年 3 月改訂）